

こんにちは

白子の議会

です

第147号

令和5年2月16日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169

町議会を傍聴しましょう。

インターネットでも視聴可能です。



次の定例会は3月1日～15日の予定です。

令和4年第4回定例会(12月6日～12月23日)

- 8議員が一般質問 2～9ページ
- 補正予算等の質疑応答 10～11ページ
- こんなことが決まりました 11ページ

一般質問 町政をきく

各種団体への補助金の見直しについて

宗島 理仁 議員

議員 各種団体等への補助金について見直しがされています。

これまでに聞いている話ですと、原則として、補助対象経費の2分の1以下とすること、町としては運営費補助を原則認めず、事業費補助への移行を積極的に行うこと。また、本来は町が主体となつて行うべき事業の代替としての性格を有している可能性があるものは、委託料等への切替えを検討していると聞いています。

新年度予算では、それから各種団体への補助金を

明確にし、使わなくなつた補助金はどこへ充当されたのか、議会のみならず、これまで補助金を交付してきた各種団体及び町民に説明、公表すべきかと思いますが、見解を伺います。

ガイドラインに従って

企画財政課長 補助金運用のガイドラインというものをまずは作成し、各課に周知しました。

この後、各課において、補助金を実際に交付する際の交付要綱等の整備を進めていきます。

補助金がどのように推移したかについては、財政の部門で把握することが可能ですので、ホームページ等で公表したいと思つていきます。

白子荘跡地の 利活用について

議員 白子荘跡地等の利活用に関する基本構想の作成を目指していると思つていますが、進捗状況を伺います。

また、来年度以降、白子荘解体工事、アクア健康センターリノベーション等工事実施設計業務をされていくとのことですが、具体的なスケジュールを伺います。

基本構想を策定

町長 8月に株式会社JTB千葉支店と白子荘跡地等の利活用に関する基本構想策定業務委託契約を締結しました。

今後、千葉県及び南関東地方居住者を対象としたウェブ調査を行い、そ

の中から、グループインタビューを開催し、町内観光事業者等との事業者ヒアリング調査を経て、基本構想が策定されます。

その基本構想の成果品を基に、休養施設等跡地利活用計画検討委員会を立ち上げ、跡地の利活用方針を決定したいと考えています。

新年度予算の中で旧白子荘の解体工事設計業務、解体工事請負工事費及び旧アクア健康センターの附帯調査業務、改修設計業務を計上する方向で検討しています。



白子荘とアクア健康センター

後期基本計画について

議員 総合計画後期基本計画は、議会の議決を要するので、令和5年度第1回議会定例会に上程すべく策定を進めてきたと思つていますが、進捗状況はどのようなものか伺います。

また、素案ができた段階でのパブリックコメントを予定どおり実施できる状況まで来ているのかも伺います。

町長 ここまでは当初想定したスケジュールのとおり進行しています。

今後の予定としては、1月中旬に計画の素案を町のホームページに公開し、パブリックコメントを行います。

その後、来年3月の第1回議会定例会に議案として上程させていただきます。と聞いています。

町民のための政治について

齋藤 鉄也 議員

議員 就任直後、丁寧

な広報活動をしなが
ら、町民第一の姿勢を徹底す
る」と言いましたが、行
政の自身が非常に分かり
にくいです。町民生活に
直結する施策をどのよう
に実施したか伺います。

また、施策実施のた
め、積極的な関係団体の
会議等への出席や、国・
県への相談、役場職員と
のコミュニケーションを
どの程度しているか伺い
ます。

物価高騰対策等を実施

町長 町民に見えにくい
との意見もありますが、行
財政改革に取り組み、成果
を上げています。生活に直
結する施策は、物価高騰対
策の地域商品券事業等を
実施し、広く恩恵が行き渡
る経済対策を講じます。
会議等は積極的に参加
し、職員とのコミュニケー

ションにも努めています。

副町長の選任は

議員 町長が関係者全員
とコミュニケーションを
取ることは難しいですが、
これを補助するための不
在になっている副町長の
選任について伺います。

選任したい

町長 副町長の選任は、
現時点では実現に至って
いません。副町長の必要
性は認識しているので、
選任に向けて研究します。

イベント活用は

議員 イカダのぼり大会
等、多くのイベントが中
止されました。町のイベ
ント等は町民満足度も高
く、無料でメディアが取
り扱うので経済効果も非
常に期待できます。

コロナ禍が落ち着いた
中でイベントを活用した
経済活性化を検討してい
るか伺います。

また、「高齢社会を迎え
ても活気ある町を目指す」
と言いましたが、敬老祝賀
会の中止は高齢者の楽し
みを奪っていると思いま
すので見解を伺います。

積極的な活動は難しい

町長 メディアによる宣
伝効果や経済効果が期待
できますが、コロナ禍で
は積極的な活動は難しい
です。

高齢社会を迎えての方
針に変わりはありませ
んが、高齢者を含む町民の
命と健康を守ることが最
優先です。健康・安全を
第一として、苦渋の選択
で敬老祝賀会を中止しま
した。



町民参加のまちづくり

議員 民間組織のイベン
トを町が積極的に支援す
る等、町民参加のまちづ
くりを進める上で行政の
関わり合いをどのように
考えているか伺います。

継続できるよう協力

町長 役場職員を多数
動員するイベントは考え
ていません。自主活動グ
ループ・団体が組織され
てきたことは、将来のま
ちづくりの大きな財産な
ので、活動が継続できる
ように協力したいと思
います。

いじめ問題の状況は

議員 学校や地域のいじ
め問題は一時期より減った
ようですが、白子町の状
況と対応・対策を伺いま
す。また、長期欠席者や
保健室通学の現状と対応
対策を伺います。

関連して、いじめ問題
に関する調査組織のメン
バーを伺います。

重大事案の発生はゼロ

教育長 いじめの認知件
数は令和3年度120件
で、重大事案は0件です。
定期的な教育相談等
や外部相談機関での対応
等、学校全体で解決に向
けて取り組んでいます。

また、長期欠席数は21
名と報告されており、そ
の原因は家庭や本人の問
題等様々で、いじめ問題
が原因ではありません。
白子町いじめ防止対策
調査会のメンバーは弁護
士や大学教授等です。

未来の希望

いじめの重大事案は発
生していませんので、調
査会は開催されていま
せん。
議員 教育は次の日本を
背負っていく子供たちを
育てることです。ぜひ健
やかで社会に出て活躍で
きる子供たちを育てて
いただきたいと思います。

マニフェストの進捗状況と 住んでみたい町づくりについて

大多和 正夫 議員

議員 町長が就任して1年半が経過した中、マニフェストの教育・産業振興・観光・福祉・行政改革の5項目の進捗状況と町長任期中に最優先に取り組む具体的な対策と目標値について伺います。

小学校適正等検討委員会の設置

町長 令和4年4月に小学校適正等検討委員会を設置し、現在まで4回の会議を開催しました。令和5年は町民との意見交換会を予定しています。

産業振興については、コンパクトシティ構想を軸として、町の総合計画後期基本計画で方向性を示す予定です。

農業については、農機用機械や施設の導入支援を行なうことで、経営規模の拡大や生産性の向上を図れるよう取組んでい

ます。

各種中小企業が活発に活動できる町を目指して、設備改善資金や運転資金の利子補給事業を継続し、経営安定化の下支え等支援強化に努めました。

観光については、観光地域づくり法人DMOの設立を視野に取組み、活動の基本となる観光振興計画の作成等を進めていきます。

観光施設の再生促進では、白子荘跡地等の利活用について、株式会社JT B千葉支店と基本構想策定業務委託契約を締結しました。この基本構想は、観光資源としての可能性やニーズを把握し、新たな観光交流拠点として整備を進める基礎資料とします。

医療と福祉の充実、高齢者に優しい環境づくりでは、高齢者の環境づく

りや介護予防事業の充実を図っていきます。

行政改革の一つとして「まちづくり基本条例案」を令和5年議会定例会に上程する予定です。機構改革については、子育てに関する事務事業を住民課の子育て支援係に集約しました。

任期中に取組む最優先事項は、現状を考慮すると小学校・保育所統廃合が現実的な状況であります。

住んでみたい・行ってみたい町づくりについて

議員 町の令和4年10月の人口は1万758人であり前月より28人減少しています。町の将来人口の推計では、人口減少対策を行わない場合の令和22年度人口は、6千351人と推計されています。人口減少対策として、現状の移住定住支援は勿論のこと、町単独での各種子育て支援の充実と、思い切った対策に取組み、「住んでみ

たい・また住み続けたい」という若者を含めた町民の気持ちを高揚させる必要があります。そして重要なことは、若い子育て層から高齢者に至るまで共に楽しめる施設環境が必要であります。あらゆる世代、用途に対応し様々な機能を配備した「複合型のハイブリット道の駅」を道路アクセスに考慮し旧白子荘跡地周辺に導入検討する考えがあるか伺います。

検討すべき案件

町長 道の駅導入は、町においても検討すべき案件であります。旧白子荘跡地周辺ではなく、今後整備される予定の茂原白子バイパス沿線への立地を検討すべきと思います。

農家所得の向上対策について

議員 本年の肥料価格は、ロシアによるウクライナ軍事侵攻及び中国の輸出規制等により、前年に比

較し5割から10割値上がりしています。令和5年3月以降の購入分の国の支援は不透明であり、野菜農家はじめ特に水稻農家は米価低迷の中、非常に厳しい経営を強いられています。農家所得の向上に向けた対策について伺います。

肥料高騰に対する支援

町長 地方創生臨時交付金を活用し肥料高騰に対する支援を補正予算に計上しました。

企業誘致所管課について

議員 企業誘致については、財政部門の企画課・総務課が所管となるべきと思うが、考えを伺います。

商工観光課の所管事務

町長 工業団地の整備のような企業誘致は予定していないので、当面は商工観光課で事務事業を進めます。

地積調査の結果について

梅澤 哲夫 議員

議員 我が町の地籍調査は年間一億円前後の経費をかけて、その大半は国・県の補助金で行われスタートから10年経過し、本年度で町全体の調査が終わろうとしています。

調査初めから今日までの経費の内訳、境界杭の確定内容について伺います。

町負担は6千百万円

町長 地積調査事業につきましては、平成24年度から昨年までの10年間で町全域の境界立合が完了し、昨年までに関地区、白濁地区の登記が終わり、本年度から3年間で南白亀地区の登記が完了予定で事務手続きを進めています。

本事業は、総事業費12億3千3百万円の予定で国50%、県25%の補助金を活用し、町負担は

5%の6千百万円です。

立合欠席や合意に至らず未定となった割合は、件数180件、筆数453件とそれぞれ全体の1.2%、1.3%となります。

赤道・青道の対応は

議員 地積調査事業で、境界杭確定と併せて土地の合筆、赤道・青道へ明治期から残っている里道排水路についても対応しますと調査事務所で聞いたことがあります。公図上に点在する土地の処理がどうなったのか、赤道・青道の課税状況について伺います。

公共用地なので

建設課長 赤道・青道の筆数ですが、一部地番を振ってないために、カウントしてないものがあります。また、面積確定も

していませんし、公共用地なので課税の対象になっていません。

調査結果の活用は

議員 今回の調査結果をもとに町が抱えている課題・事業計画において関係しそうな土地の境界確定、所有者の確認は行政として事前においておいても思いますが町の考えを伺います。

課題がいっぱい

町長 今後の見通しと言われても茂原白子バイパスに関しては、第3工区の前算化がされています。関連して、今後考える学校の統廃合、スパー誘致にしても課題がいっぱいあります。



コロナ禍における教育現場は

議員 コロナ発生後、学校の休校、またコロナ感染における休み等で子供たちの学習指導はどうなっているのか。数年前から働き方改革で教職員の過労対策が叫ばれて、教育現場は大変だと思えます。

近年身近に子供たちの声が聞こえず改めて、未来自ある子供たちの教育環境について伺います。

タブレットの有効利用で

教育長 児童・生徒が新型コロナウイルスに感染などで、学習の遅れにつながります。幸い現在は、一人一台のタブレット端末が提供されています。

本人や保護者の希望を確認した上でリモートでの授業参加が出来るようなシステムとなっています。このことにより教職員の働き方改革に多少なりともつながると思います。

元気な声はいつ

議員 マスクの着用、大声を出さない、各行事の中止、中でも楽しい給食は黙食でと、元気な声を出しづらくなった子供たちのストレスの解消は考えられているのか伺います。

創意工夫しながら

教育長 令和4年度、多くの行事ができるようになりました。給食時の会話は文部科学省により、条件づきの通達が出されました。

ストレス解消については創意工夫しながら、スポーツ選手の招聘、町出身の落語家を呼ぶなどやっております。



入札関連の不正疑惑について

東海林 東治 議員

議員 過去において、最低制限価格と一円の誤差もない同額での落札等、永年数々の疑念を抱く入札が繰り返し執行されてきました。

本年8月20日の読売新聞朝刊に、誤った工事情報で落札、内部情報漏れか？と報道されました。

町が提示した設計金額の計算誤記にもかかわらず、その入札工事最低制限価格に極めて近い金額で落札されたことが判明しました。

町は、情報管理体制の見直しと再発防止策を講じるとし、庁内に情報漏洩等調査委員会を設置し、関係職員に聞き取り調査を実施し、その結果不正の事実確認が出来ず、今後の対応策を検討するとしています。

住民代表より地方自治法100条に定める調査権を行使し、その真偽を

明確にすることを目的にした請願書の提出が11月17日にありました。

関係業者に多大な迷惑と住民への不信感を募らせた件を今後どのような施策を以て対処されるか伺います。

セキュリティ対策の強化

町長 読売新聞の入札関連報道を受け、入札情報漏洩等調査特別委員会を設置し、内部調査を開始しましたが、情報漏洩に関する事実確認は不可能でした。

今後のセキュリティ対策について改善すべき点がありましたので、設計金額の管理、秘密厳守を重点とする対策を関係課と協議し、その調査概要は町ホームページに掲載しました。

公平公正な今後の施策は、予定価格400万円

以上は、指名競争入札から一般競争入札へ変更しセキュリティ対策を強化します。

気象庁との連携で地域防災力強化を

議員 近年、台風災害、線状降水帯等で多くの浸水被害が発生しています。

本町でのハザードマップ等の水害リスク情報の充実や整備等の取り組み状況、気象庁の観測結果等や国土交通省の事例記録を共有した体制整備について伺います。

必要 水害対策の取り組み

町長 本町でも大雨による道路冠水被害の実情があり、水害対策の取り組みも必要と考えます。

気象庁とはメールやホットラインでつながっており、銚子気象台職員とは毎年ワークショップを開催し情報交換を含む連携をしています。

特定妊婦の把握と連携

議員 母子手帳交付時に把握して、相談対応や受診や出産に必要な品物の準備などの実際の伴走型を通し、面接や訪問での児童養育に関する相談、児童虐待の通告に対応、未然防止への家庭支援業務に従事する家庭相談員、保健師、医療機関等の連携が求められると思いますが、その対応策を伺います。

関係機関との連携

健康福祉課長 母子手帳交付時に保健師が面接し、特定妊婦の把握をしています。心身の不調や病気、育児への強い不安、支援者や相談員の不在、経済的な問題がある場合等、支援が必要とされると特定妊婦とします。

必要に応じて関係機関と情報連携を行い、町要保護児童対策地域協議会と連携し、いち早く担当者へ繋げています。

乳幼児訪問と産後ケアの充実

議員 出産後は、病院から連絡を受けたハイリスク児や特定妊婦は主に地区担当保健師が訪問、通常は母子保健推進員、保健師、助産師が訪問し現状把握をします。また、産後ケア事業を通じたケア、ショートステイ等の体制は整っているか伺います。

医療機関との連携

健康福祉課長 受け入れ医療機関は、茂原市の作永産婦人科と育生医院で対応しています。

宿泊型が産後30日までで、宿泊型及び日帰り型と合わせることも、また、親子で宿泊が可能で、産後4ヶ月間繰り返し使用可能です。



安心安全な環境づくり 防犯カメラの設置について

今井 滋則 議員

議員 先日、市川市で7歳の女の子が公園に遊びに行った後に行方不明になり、河川で遺体となつて見つかるという痛ましい事故が起きました。女の子の姿を捉えた防犯カメラが公園から900mも離れたものしかなかったため、発見することにも多大な時間を要したようです。もし、より多くの防犯カメラが周囲に設置されていたならば、早期での発見ないしは彼女の命を救うこともできたのかもしれない。

議員 白子町にとって、この一件は他人事ではないように思われます。白子町でも、70代の夫婦が水路と川で亡くなっているのが最近見つかっています。白子町は水路や河川など、特に児童や高齢者の方にとって危険な水辺が多く、ふとした事故が起きてしまったときに

迅速な対応が可能となるための対策が必要不可欠であると思います。町として、防犯カメラの設置状況はどのようになっているのか伺います。

交差点に設置

町長 現在防犯カメラは、各小中学校主要交差点を含め、町内に9箇所設置しております。今年度は3箇所増設をします。

公共施設の設置は

議員 公共施設の排水機場回りや避難所周辺の死角になるところに設置する予定はありますか。

随時検討

総務課長 まずは、道路の交差点を中心に整備しているのので、随時公共施設

設置も検討してまいります。

議員 実際にどのような場所に防犯カメラが設置されているのかイメージをすることができると、より町民の安心に繋がると思います。

役場庁舎の耐震性について

議員 令和4年度の白子町一般会計補正予算によると、白子町役場の庁舎のLED化及び屋上防水等工事に約1億5千万円の予算が組まれています。また、白子町耐震改修促進計画を見ると、役場庁舎は昭和55年11月に竣工となつていて、耐震改修が必要だと明記されています。防水工事ではなく、耐震工事の方がより致命的な問題を解決できるように思われますが、何故先に防水工事の予算を組み込んだのか、伺います。

耐震工事は先送り

防水工事が先

町長 耐震診断の結果、1階及び2階は所定の耐震性能を満たしていないとの結果が出ています。しかし、耐震性能を判断するIs値がすぐ倒壊してしまう数値を示しておらず、また工事費用及び工法により、役場機能が縮小されてしまうことから、工事は先送りせざるを得ない状況になっております。

町民が安心して利用できる庁舎へ

議員 庁舎は一番大事な場所だと思っております。大勢の職員が働いていて、毎日町民の方が訪れる場所です。今、世界中で地震が増えてきて、日本でも毎日のように地震が起きております。そういう観点から、先送りせず安全に働ける、町民が安全に來られる庁舎にしたいのだと思います。

防水と電気から

企画財政課長 国から脱炭素化事業というところで、

有利な起債を借りられるということが前提として計画したものでありまして、電気系統を全部直しても漏水によってまた駄目になってしまっておそれが非常に高いため、まず防水と電気をやっていくという事です。

議員 新しい計画があるのであれば、どんどん進めてもらい、安全な庁舎を作っていくてもらいたいと要望します。



高齢者への支援は 補聴器購入の補助を

市川 隆子 議員

議員 町では、高齢化が進む中で、加齢性の難聴が増えていきます。難聴が進むと周りのコミュニケーションが取れなくなり、認知機能が低下したり、社会参加がしにくくなります。

補聴器は、高額で購入をためらう方もいます。町では、補聴器購入の補助について検討をすすめる考えがないか伺います。

国・県の動向を 見極め検討

町長 町単独での補助は考えていません。国、県の動向を見極めながら検討していく必要があると考えています。

なお、難聴を含む身体障害者手帳の聴覚障害6級以上の方は、補聴器購入費用の一部を支給しています。

带状疱疹ワクチン助成を

議員 带状疱疹になると、水疱を伴う赤い発疹が帯状に体の左右どちらかに現れ、強い痛みを伴うことが多く、重症化することもあります。

重症化を予防するためには、ワクチン接種が有効だということですが、ワクチン費用の助成についての見解を伺います。

国の動向を注視

町長 ワクチン接種は、疾病の発症を抑える効果があることから、予防接種の意義は大きいと認識しています。

助成に関しては、国の動向を注視し判断していきます。



介護保険

次期計画の方向性は

議員 介護保険制度は、二〇〇〇年の制度開始から二〇二一年度の改定まで、利用者の負担を増やし、給付を減らしてきました。

次期計画は、どのような方向性を持って準備をすすめるのか伺います。

また町長は、町の高齢者施設が少ないと言われていますが、今後の事業計画に盛り込んでいくのか伺います。

方向性は具体化

されていない

町長 今年度は、計画策定のための調査を実施し、課題や検討事項を整理していく準備段階のため、計画の方向性は、具体的に示すことができません。

特養などの施設が他町村と比べて少ないと認識しています。

まだ未定ですが、特養を増床、建設したい業者がいれば、できるだけ対応

応したいと思っています。

高齢者保健事業と介護 予防の一体的事業とは

議員 高齢者が住み慣れた地域で可能な限り社会参加ができ、自立した生活ができるようにするためには、できる限り健康を維持することだと思います。

町では来年度から、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業が予算化されましたが、事業内容について伺います。

疾病予防・重症化予 防等の一体的事業

町長 本事業は、後期高齢者医療広域連合が国の交付金を受け、市町村へ委託して実施する事業です。

内容は、リスクの高い方への個別的な支援や、リスクの有無にかかわらず、集団に対して行う支援などです。

本町では、令和5年度より保健師を配置し、高齢者の疾病予防、重症化

予防、生活機能の改善等の一体的な事業を実施する予定であり、現在準備をすすめています。

ワンストップサービス への考え方は

議員 総務省は、自治体での各種手続きにおける住民の窓口を一つに集約するワンストップ窓口の導入を推奨しています。町はどのように考えるのか伺います。

最重要課題と認識

町長 来庁者の目線に立った効率的な利便性の高いサービスを提供することは、就任当初から最重要課題と認識していました。

現在、利便性の高いサービス提供への取組について協議しています。



ご当地ナンバーについて

大多和 正之 議員

議員 地域の風景や観光資源を図柄とすることにより、地域の魅力を全国に発信することを目的に、導入地域における交通改善、観光振興などの取組に活用されます。導入地域における地域振興、観光振興の取組が一層促進され、動く広告塔効果と言われており、期待されており、広域連携を呼びかけ、申請する考えがあるか伺います。

話題を提供

町長 自動車登録台数の要件など幾つかの条件があり、白子町単独では難しさがありません。まずは近隣地域でどのような考えがあるのか、郡町村会において、実際に話題を提供し、いろいろご意見を聞いてまいります。

生鮮食品店の見通しについて

議員 生鮮食品については、近隣のスーパーに買物に行っているのが現状です。移住を考えたとき、スーパーが無い中で、候補地に白子町を考えていただくには、町の将来性が必要と思うが、考えを伺います。

建築完了まで2〜3年

町長 出店交渉を行った結果、スーパーハヤシの東側に出店を検討してもいいというような回答をいただいております。様々な手続きや建築資材や原材料価格の高騰といった難問もクリアしなければなりませんし、建築完了までには、2〜3年要します。町の将来性に関しては確かにスーパーが一つな

くても、正直言いまして相当厳しいと思います。

今後の観光について

議員 時代とともに変化するライフスタイルや価値観は、感染症拡大を契機とし、さらに多様化し、宿泊客、日帰り客、団体客の激減で、今後の新たな集客策が必要と思うが、観光ツアーを企画し、連泊をしていただければと思います。そこで自家用有償旅客運送などを町が行い、支援する考えがあるか伺います。

白子町の観光を

どうやって

町長 自家用有償旅客運送は非常にいいアイデアだと思います。観光について協議してはいますが、DMOも理解いただけない部分があります。観光業者だけではなく、産業、商工会、観光協会、全部含め今後白子町の観光をどのように進めていくのが課題だと

認識しています。

企業誘致の実績は？

議員 茂原白子バイパス沿いに、公共ゾーン、住宅ゾーン、商業ゾーンをつくり企業誘致を図り、人口減少に歯止めをかけると言われていますが、実績を伺います。

白子町に企業を誘致、工場などを建設するには様々な制約があり、厳しい状況だと思えますが、通信環境整備を町が整えることは白子町の将来に必要なと思うが考えを伺います。

企業誘致まで

発展していない

町長 農振除外などの土地の手の問題が大きく企業誘致まで発展してはならず、企業立地相談にとどまっております。通信環境は今後一番大事なものだと思えますので、最優先でやっています。たいと思っています。

議員 自家用有償旅客運送は町外の買物にも利用できます。ぜひ早急に検討と実施をお願いいたします。また、白子町内のホテルには、テニス以外の合宿で様々なスポーツ合宿が来ています。チームを歓迎する意味も込めて、中里の中心街に垂れ幕などをしていただければと思います。これは要望としてお願いいたします。

企業が本社機能を地方へ移転させることを促す政策はより充実してきております。ぜひとも企業誘致を実現していただくよう要望いたします。



白子青空祭りの様子

補正予算等に対する

質疑応答

白子町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について

議案第3号

〔大多和正之 議員〕

議員 定年の引上げで、65歳までにするというのとだと思えますが、役職定年を導入し、給料が約7割程度になるとの説明でしたが、業務に著しい支障を来す場合は期間内で引き続き管理職を勤務させることができるというところは、60歳を過ぎても課長職になれるということですか。

総務課長 管理職にとどまった場合、給料はそのままです。

議員 60歳過ぎたら課長職は定年で、一般職として残っていたら、人事評価をしっかりと行い、7

割程度にこだわらず評価で降給する考えがあるか伺います。

総務課長 任命権者の判断になります。1年目の勤務態度がよろしくなければ、降給するというものは可能だと思います。

〔大多和正夫 議員〕

議員 「管理監督職勤務上限年齢制の対象職員について、管理監督職以外の職に降任することで公務の運営に著しい支障が生ずる場合には、一定の期間内で引き続き管理監督職を占めたまま勤務させることができる。」とあるが、この対象者の給与体系はどうなるのか。

総務課長 管理職にとどまった場合の給与は、60歳前の給与額です。

財産の処分について

議案第7号

〔宗島理仁 議員〕

議員 労災リハビリテーションについては、令和元年に町が購入してから4年が経過し、やっと利活用ができることは喜ばしく思います。

原材が高騰や円安の影響で厳しい経営環境の中で、経営が悪化しないように、買主の提案した計画が実現できるよう、町としても可能な範囲でしっかりと支援していく考えはあるのか伺います。

企画財政課長 町で要求したにぎわいの創出や、雇用の創出に資する提案ということと、町内勤労者の居宅の整備や、テレワーク施設の整備など、非常に前向きな提案をいただいておりますので、出来るだけの支援は法令の範囲内で行いたいと考えております。

議員 随意契約に至る

までに建物を取り壊す費用、そして更地にした場合の売却想定額等を試算した上で、処分予定金額を決定したのか。

企画財政課長 令和元年に町が厚生労働省から購入したときの条件や計算式等を参考にしました。町独自の不動産鑑定等は行なっておりません。

令和4年度白子町一般会計第4回歳入歳出補正予算について

議案第8号

〔宗島理仁 議員〕

議員 債務負担行為補正について、なぜ今回このような追加補正が出たのか、限りある財源の中で公共施設等の改修等がありますので、より計画的にこの債務負担行為等を明確にする必要があるかと思えますが、詳細及び経緯について伺います。

企画財政課長 経緯については、本町における長

期にわたる契約、あるいは自動継続の条項のある契約などの見直し、洗い出しを行財政改革の一環として行いました。

その中で、債務負担行為を必要とするものが幾つか出てきておりますので、令和5年度から3か年の契約で、債務負担行為をさせていただきました。

〔市川隆子 議員〕

議員 保育所改修の内容について伺います。

住民課長 修繕費は、各保育所のエアコン、雨漏り等で、工事請負費は、関保育所トイレの給排水の漏れについて計上しました。

議員 南白亀保育所の屋根は、ブルーシートを被せたままですが、今後の工事予定と、園児たちの保育に支障は出ていないのか伺います。

住民課長 コーキングをして雨漏りが解消してもそれによって新たな雨漏

りが発見されました。効果が出るよう業者と協議して修繕に当たっていきます。

保育には全く支障が出ていないとは言えませんが、なるべく保育室に支障が出ないように修繕を行っていきたいと思います。

〔大多和正之 議員〕

議員 庁舎のLED化と屋上の防水工事1億6千万円を新年度予算では無く補正予算計上したのか、町長は議員時代に白濁小学校体育館の改修工事に補正予算を反対したと思うが、今回の補正予算で計上した経緯を伺います。

企画財政課長 二酸化炭素の削減に関連して有利な起債があったので事業化をしたところです。

町長 白濁小学校の関係は少し違うと思います。南白亀保育所の改修1千3百万円も大きい金額ですが、駄目であれば改修を行います。が、保育所も統合を見すえ計画を立てて進めたいと思

います。

議員 学校の統合があるから白濁小学校の改修に反対したとの話でしたが、町長の進めるコンパクトシティで役場庁舎を移す考えの中、1億6千万円で庁舎改修より南白亀保育所の雨漏り改修を優先するべきだと思います。

町長 役場庁舎の雨漏りが激しいので、LED化に関連して一緒に改修したほうが経済的なため補正予算を組みました。白濁小学校については、議論があると思いますが、実際問題として、あれは昔の話です。

〔大多和正夫 議員〕

議員 庁舎の耐震化対策も残っているのに、LED工事を中心に防水工事は応急処置で対応してはどうですか。耐震工事で再度防水工事が発生するので、その時に防水工事を完璧に行なうてはどうですか。

企画財政課長 庁舎の耐

震化は現在プランの中には入っていません。庁舎の耐震化の前に学校・保育所等優先すべき公共施設に力を入れていきます。

議員 ほかの施設整備を優先的に進めるのであれば、新設、修繕工事等の年度別予定表を求めます。

令和4年度白子町コミニティ・プラント事業特別会計第2回歳入歳出補正予算について 議案第11号

〔大多和正之 議員〕

議員 4月から特別会計に移行し、電気料金等の値上げで、1千百万円補正しますが、インボイスが始まり料金もこのままが良いかと議論になると思うが、運営委員会が設置されていない理由を伺います。

環境課長 運営委員会は、これから、早ければ3月議会に条例等を上程します。



請願書

〔請願第3号〕

町発注の町道舗装修繕工事に係る100条調査委員会の設置を求める請願書について (不採択)

発議案

〔発議案第2号〕

県道茂原・白子バイパス整備促進に関する意見書 (可決)

承認

〔承認第1号〕

専決処分事項の承認を求めることについて(令和4年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算) (承認)

議案

〔議案第3号〕

白子町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について (可決)

〔議案第8号〕

令和4年度白子町一般会計第4回歳入歳出補正予算について (可決)

決算認定等

〔認定第1号、第6号〕

令和3年度の白子町一般会計ほか、国民健康保険事業、後期高齢者事業、介護保険事業、休養施設事業、町ガス事業の5事業特別会計の歳入歳出決算及び剰余金の処分については、認定することに決定されました。

※その他は、広報しらこ2月号やホームページをご覧ください。



議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、町民に開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指し、協議・検討を進めるために令和4年9月議会で設置されました。

議会改革は一朝一夕には進まず、直ぐに答えが出るものでもありません。今後とも会議を開催し、しっかりと議論を重ねて議会改革に取り組んでまいります。

自動販売機設置に関する調査特別委員会

自動販売機設置に関する調査特別委員会は、当初からの経緯を調査・確認し、不確かだった事実を明らかにすることで、住民福祉の向上を図るために令和4年9月議会で設置されました。

裁判の判断とは別に、議会は議会としてしっかりと調査を重ねて判断し、結論を出すよう取り組んでまいります。

白子げんき朝市



開催日時：第一回3/4(土)8:30-12:00
第二回3/26(日)8:30-12:00
以降各数月の第4週日曜日
開催場所：白子神社
主催：白子GENKIプロジェクト

白子げんき朝市

地域おこし協力隊の隊員として白子町に移住し、まちづくりに奮闘している小林弘典さんは、地域の課題解決と移住定住の推進という非常に難しいミッションにチャレンジしています。

これまで培われたネットワークを活かし、白子GENKIプロジェクトとして夏祭りを成功させ、3月4日には白子神社の春祭りに合わせた「白子げんき朝市」を企画しています。

多様性と持続可能な街を考える

令和4年11月11日に大阪府の初芝立命館中学校の3年生が社会テーマ・社会課題を学ぶ修学旅行として白子町を訪れました。

多様性と持続可能な街を考えるとというテーマのもと、正解のない課題に対しどのようなアプローチが行えるのかのアイデアを出すため、一行は3グループに分かれ、白子町役場・大多和医院・白子中学校を訪問しました。



役場グループは、議場に入ると一番に議長席を奪い合い、楽しそうに目を輝かせながら本番さながらの議会体験をしていました。

表紙の紹介

節分の豆まき。

宮中で節分に行われていた鬼払いの儀式が広まったと言われており、邪気を払い新年の幸せを願うため豆をまきます。

町立3保育所では2月の恒例行事となっており、鬼の登場に泣いてしまう園児もいますが、一生懸命に豆まきをして鬼を追いかけています。

少しでも町民の皆様が町議会へ興味を持っていただけるよう、広報委員会では協議しながら「議会だより」を編集しています。

地域の話や季節の風景などの情報提供や「議会だより」紙面の意見など遠慮なくお聞かせください。

連絡は議会事務局 (☎ 33-2169) へ。

編集後記

「異次元の少子化対策に挑戦する」年初の岸田総理の発言が注目を浴びている。深刻な少子化は、今に始まったことではない。これから挑戦する少子化対策は、より実行が求められている。

わが町においても出生数は年々減少しており、子供たちがにぎやかに遊ぶ姿を見る機会が少なくなってきた。

子供を産み育てやすい環境、子供たちが健康で心豊かに育つ環境、家族が住み続けたいと思える環境を整備していかねばならない。

保育園・小学校の統合を見据えたまちづくりの中でも、地域が衰退することなく、孟母三遷の教えの通り、子供たち一人一人が誇りを持ち、子供たちの笑顔が溢れ、町民の皆様と共に喜びが実感できる町を目指し、次代を担う子供たちのため議会運営に努めていきたい。

宗島 理仁